

株主の皆様へ

第64期のご報告

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



おしゃれのとなりに
株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第64期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成25年6月

代表取締役社長 藤井 一郎

▶ 当期の概要

当業界においては、慎重な消費とデフレ傾向が続いたため、当社グループは国内事業の低調に加え、アジア事業の減益で厳しい結果となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州債務問題や新興国経済の不透明感が払拭されないものの、昨年末に発足した新政権による経済対策への期待感が膨らむ明るい兆しも見えはじめました。

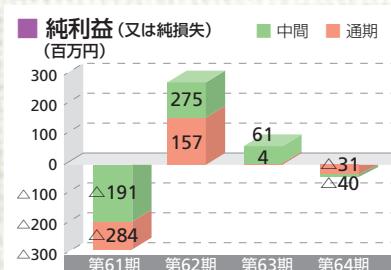
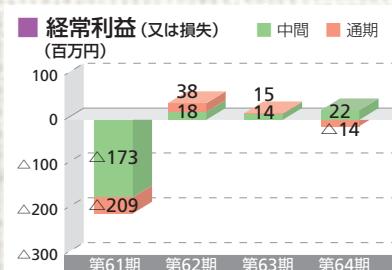
しかし、当縫糸業界におきましては、消費者の節約志向は依然根強く、消費はまだら模様でデフレ傾向が続いていることに加え、衣料品の縫製が中国から新興アジア諸国に分散する傾向が続き、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、引き続き中長期を見据えた諸課題に取り組んでまいりましたが、国内事業の低調により当連結会計年度の売上高は6,168百万円（前期比2.0%減）となりました。

また、利益面につきましても、国内売上高の回復遅れや、本社修繕工事の実施など一過性の費用の発生に加え、アジア事業での減益も響いて、営業損失は49百万円（前期は33百万円の損失）、経常損失は14百万円（前期は15百万円の利益）となりました。

また、特別損益において減益要因が発生したことや、中国子会社の税額並びに少数株主利益が減少した結果、当期純損失は31百万円（前期は4百万円の純利益）となりました。

財務ハイライト（連結）



▶ セグメント別の実績

■ 日本

国内においては、先行きに対する期待感はあるものの、依然として消費者の生活防衛意識は強く、デフレ傾向や節約志向も続いており、衣料品の生産も慎重で国内の縫製業は厳しい状況が続くとともに、手作りホビーの分野においても回復傾向が見られません。

当社グループは、家庭用縫い糸のシェアの拡大や海外向け販売の拡大、ホビー需要の掘り起こし、非衣料分野を含めた工業用縫い糸のシェア拡大など、中長期の課題に取り組んでおり、その成果も一部には現れつつありますが、当セグメントの売上高は4,971百万円（前期比2.6%減）にとどまりました。

また、利益面につきましても、国内工場の移転統合に伴う償却費負担の減少や人件費の減少など、増益要因もありましたが、国内縫製の低迷により先行経費負担に対して売上高の回復が見られず、セグメント損失は190百万円（前期は204百万円の損失）となりました。

なお、当社グループにおいては事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当連結会計年度には、当社の平成24年4月から平成25年3月まで、各国内子会社の平成24年2月から平成25年1月までの業績が連結されております。

■ アジア

当社グループのアジア事業の核となっている中国においては、領土問題を発端とした日中関係の悪化については、幸いにして一時的且つ僅少な影響を受けるにとどまりましたが、昨今の急速な賃金上昇や雇用環境の変化な

どにより、特に労働集約型産業である縫製業においては、賃金が安価で縫製人員の確保し易い新興アジア諸国へのシフトが進みつつあり、低価格や量産型衣料品の生産を中心に中国からの分散化傾向が強まっております。これに伴い、同国の縫製業は厳しさを増しつつあり、中国連結子会社における縫い糸受注も小口化が進むとともに競争も激化する傾向にあります。当社グループではきめ細かなサービスや信頼される品質を掲げた販売努力を続けた結果、当セグメントの売上高は1,196百万円（前期比0.8%増）と、ほぼ前期並みを維持することができました。

しかし利益面は、人件費をはじめとする経費の増加や、円相場下落による為替差損、平成24年5月に設立が認可されたベトナム・ホーチミンの販売子会社における先行経費負担などもあり、セグメント利益は126百万円（前期比35.7%減）となりました。

なお、当社グループの海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当連結会計年度には、各海外子会社の平成24年1月から12月までの業績が連結されております。

また、平成23年にタイ国サハ・グループとの合弁で設立した販売会社 フジックス・インターナショナルは、持分法適用関連会社であり、同社の純損益のうち当社持分相当額は営業外費用の持分法による投資損失として計上されているため、当セグメントの売上高およびセグメント利益に影響はありません。

▶ 今後の見通しと当社グループが対処すべき課題

今後の見通しと中長期的な事業環境

円安の影響により当面厳しい事業環境が続きますが、海外市場での販売拡大をはじめ、引き続き中長期の諸課題に全力で取り組んでまいります。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、政府のデフレ脱却をはじめとする経済、財政、成長戦略への期待感から、長期的には明るさも見えはじめましたが、世界的には欧州の債務問題や中国経済の減速傾向など不安要素も払拭できません。また目先は円安による物価の上昇、電力料金の値上げや雇用情勢も踏まえて、消費者の生活防衛意識は依然根強いものと予想されます。

また当業界におきましては、消費者の節約志向やデフレ傾向が続く中、円安による原料、エネルギーコストの上昇により、当面は厳しい環境が避けられません。

しかしながら、中長期的な事業環境については、当社グループは次のように考えております。

工業用縫い糸事業

工業用縫い糸の事業については、経済成長の続くアジア諸国全体を見れば、衣料品や自動車等の消費拡大に伴い、縫製業の増加と縫い糸需要の拡大が見込まれるため、今後も衣料用、非衣料用ともにアジア諸国における販売拡大が期待できる。また近年、海外への生産移転と縫製従事者の減少で縮小を余儀なくされてきた日本国内においても、独自性や機能性の高い製品の開発や高質のサービスの提供などにより、シェアの低い地域での販売拡大が可能である。

家庭用縫い糸事業

家庭用縫い糸の事業については、近年、国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要はライフスタイルの変化などに伴って漸減傾向が続いてきたものの、価値観の多様化に伴い「ゆとり」や「絆」、あるいは「オリジナリティ」が見直されつつある中、中長期的には、国内における手作りホビーの潜在需要の掘り起こしが可能である。また、欧米市場においては、当社グループのシェアは極めて低く、独自性や機能性の高い製品の開発によって、市場へのさらなる参入が可能であるほか、今後も経済成長が見込まれるアジア諸国においては、生活水準の向上とライフスタイルの変化に伴い、今後手作りホビー市場の成長が期待できる。

当社グループは、これらの中長期的な事業環境を踏まえた上で、右記の諸課題に取り組んでおります。

会社が対処すべき課題

- ①連結子会社 株式会社F T Cとともに、引き続き技術開発、製品開発に努めるとともに、独自の生産システムの構築により、コストダウンと納期短縮を始めとする顧客サービスの向上を徹底し、家庭用から工業用、衣料用から非衣料用まで幅広い品揃えを有するメーカーグループに進化すること。
- ②経済成長とともに衣料品や自動車などの生産が拡大しつつある中国をはじめとする東南アジア市場を見据えて、現在の海外連結子会社やタイ国サハ・グループとの合併会社を活用することはもちろん、今後はアジア市場での生産・販売拠点をさらに整備・拡充して現地供給体制の強化を図り、生産の一極集中リスクを軽減しつつ、東南アジア縫製市場の開拓を一層推し進めること。
- ③近年、縮小傾向を余儀なくされてきた国内縫製市場においては、国内連結子会社3社との連携を強化しつつ、シナジー効果を発揮して、供給体制はもちろん、当社グループならではの顧客サービスの構築に努め、衣料用・非衣料用ともにさらなるシェア拡大を図ること。
- ④漸減傾向の続いてきた手作りホビーの国内市場に対して、提案や情報発信を継続し、潜在需要の掘り起こしに努めるとともに、独自の製品開発や蓄積したノウハウを活かして、欧米諸国はもちろん、今後成長が期待されるアジア諸国も含めて、海外手作りホビー市場のさらなる開拓に努めること。
- ⑤人材の育成と活性化の図れる環境を整備し、長寿企業として事業のさらなる永続を目指して技術やノウハウの継承をスムーズに行うこと。
- ⑥社会的信頼の維持はもとより、環境負荷の軽減をはじめ、企業としての社会的責任を果たすこと。

当社グループは引き続き、国内外連結子会社が一層の連携を図りつつ、上記の諸課題に取り組み、業績の回復とさらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

▶ 連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	科 目	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,075,563	7,089,953	流動負債	1,202,774	947,955
現金及び預金	2,701,163	2,825,455	買掛金	570,702	526,448
受取手形及び売掛金	1,394,206	1,498,350	リース債務	5,289	5,066
商品及び製品	1,539,188	1,365,626	未払金	113,751	127,617
仕掛品	773,559	852,718	未払法人税等	46,152	42,964
原材料及び貯蔵品	579,571	470,505	賞与引当金	66,492	69,434
繰延税金資産	23,700	27,352	移転損失引当金	95,602	12,084
その他	72,920	77,845	その他	304,782	164,340
貸倒引当金	△8,746	△27,900	固定負債	713,561	644,816
固定資産	3,442,246	2,862,652	長期借入金	41,070	52,528
有形固定資産	1,795,436	1,361,272	リース債務	27,394	32,684
建物及び構築物	764,987	660,795	繰延税金負債	332,279	178,153
機械装置及び運搬具	320,716	334,338	退職給付引当金	83,286	75,592
土地	261,976	261,976	役員退職慰労引当金	174,637	166,078
リース資産	15,633	20,844	移転損失引当金	—	83,986
建設仮勘定	399,398	44,288	資産除去債務	20,330	16,929
その他	32,723	39,029	その他	34,562	38,864
無形固定資産	184,430	196,395	負債合計	1,916,336	1,592,772
投資その他の資産	1,462,379	1,304,985	純資産の部		
投資有価証券	1,001,943	829,420	株主資本	7,851,421	7,974,420
長期貸付金	136,164	139,802	資本金	923,325	923,325
長期前払費用	28,589	44,520	資本剰余金	758,014	758,014
保険積立金	189,050	164,863	利益剰余金	6,276,511	6,399,123
その他	111,743	130,198	自己株式	△106,429	△106,042
貸倒引当金	△5,111	△3,821	その他の包括利益累計額	297,078	37,903
資産合計	10,517,809	9,952,605	その他有価証券評価差額金	235,586	125,201
			為替換算調整勘定	61,491	△87,298
			少数株主持分	452,974	347,509
			純資産合計	8,601,473	8,359,833
			負債・純資産合計	10,517,809	9,952,605

▶ 連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売 上 高	6,168,284	6,291,866
売 上 原 価	4,415,102	4,510,113
売 上 総 利 益	1,753,181	1,781,753
販売費及び一般管理費	1,803,114	1,814,927
営 業 損 失	49,932	33,174
営 業 外 収 益	74,725	65,517
営 業 外 費 用	39,299	17,101
経常利益(△は損失)	△14,507	15,241
特 別 利 益	216,894	347,343
特 別 損 失	22,497	110,069
税金等調整前当期純利益	179,889	252,515
法人税、住民税及び事業税	35,619	79,442
法人税等調整額	89,852	65,891
少数株主損益調整前当期純利益	54,417	107,181
少 数 株 主 利 益	86,118	103,086
当期純利益(△は損失)	△31,701	4,095

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	379,358	369,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△505,322	△385,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,664	△117,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,152	△38,483
現金及び現金同等物の減少額	△223,476	△172,150
現金及び現金同等物の期首残高	1,649,022	1,821,172
現金及び現金同等物の期末残高	1,425,545	1,649,022

▶ 連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額			少数株主分	純資産合計	
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の 包括利益 累計額合計
当 期 首 残 高	923,325	758,014	6,399,123	△106,042	7,974,420	125,201	△87,298	37,903	347,509	8,359,833
連結会計年度中の変動額										
剰 余 金 の 配 当			△86,154		△86,154					△86,154
従業員奨励及び福利基金繰入額			△4,755		△4,755					△4,755
当 期 純 損 失			△31,701		△31,701					△31,701
自己株式の取得				△387	△387					△387
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						110,385	148,789	259,174	105,465	364,640
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△122,612	△387	△122,999	110,385	148,789	259,174	105,465	241,640
当 期 末 残 高	923,325	758,014	6,276,511	△106,429	7,851,421	235,586	61,491	297,078	452,974	8,601,473

個別財務諸表

▶ 個別貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当事業年度 (平成25年3月31日現在)	前事業年度 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	4,418,728	4,801,776
固定資産	4,044,267	3,656,445
有形固定資産	1,089,243	1,024,945
無形固定資産	35,593	39,126
投資その他の資産	2,919,430	2,592,373
資産合計	8,462,996	8,458,222
負債の部		
流動負債	367,324	387,693
固定負債	353,173	298,964
負債合計	720,498	686,657
純資産の部		
株主資本	7,506,910	7,646,362
資本剰余金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	5,932,001	6,071,065
自己株式	△106,429	△106,042
評価・換算差額等	235,586	125,201
その他有価証券評価差額金	235,586	125,201
純資産合計	7,742,497	7,771,564
負債・純資産合計	8,462,996	8,458,222

▶ 個別損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当事業年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	前事業年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	3,642,632	3,782,880
売上原価	2,612,908	2,776,442
売上総利益	1,029,724	1,006,438
販売費及び一般管理費	1,194,108	1,210,273
営業損失	164,383	203,835
営業外収益	130,920	123,783
営業外費用	11,986	14,663
経常損失	45,449	94,715
特別損失	586	13,429
税引前当期純損失	46,036	108,145
法人税、住民税及び事業税	11,404	15,932
法人税等調整額	△4,530	△11,675
当期純損失	52,909	112,402

▶ 個別株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	923,325	758,014	6,071,065	△106,042	7,646,362	125,201	125,201	7,771,564
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△86,154		△86,154			△86,154
当期純損失			△52,909		△52,909			△52,909
自己株式の取得				△387	△387			△387
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						110,385	110,385	110,385
事業年度中の変動額合計	—	—	△139,064	△387	△139,452	110,385	110,385	△29,067
当期末残高	923,325	758,014	5,932,001	△106,429	7,506,910	235,586	235,586	7,742,497

会社の概要 (平成25年3月31日現在)

事業内容

当社グループは、家庭用縫い糸及び工業用縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業 大正10年(1921年)3月

設立 昭和25年(1950年)1月

資本金 923,325,000円

従業員数 146名*パート21名を含む(連結411名)

事業所

本社	管理部・営業本部・研究開発室	京都市北区
東京支店	営業部	東京都台東区
滋賀事業所	生産部・物流部門	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

連結子会社

国内

株式会社FTC (生産会社 京都 東京 岐阜 福井)

株式会社シオン (販売会社 秋田)

株式会社ニットマテリアル (販売会社 山梨)

海外

上海富士克制線有限公司 (生産会社 上海)

上海富士克貿易有限公司 (販売会社 上海)

富士克国際(香港)有限公司 (販売会社 香港)

上海新富士克制線有限公司 (販売会社 上海 大連 南通 広東 南京 寧波 青島 北京)

上海福拓線貿易有限公司 (販売会社 上海)

FUJIX VIETNAM Co.,Ltd* (販売会社 ベトナム・ホーチミン市)

*FUJIX VIETNAM Co.,Ltdは平成24年5月に設立いたしました。

持分法適用関連会社

FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd. (販売会社 タイ・バンコク)

役員 (平成25年6月27日現在)

代表取締役 藤井 一郎 取締役社長兼生産本部長

常務取締役 松岡 繁生 営業本部長

取締役 山本 和良 管理部長

取締役 森川 昌治 営業本部長代行

常勤監査役 新江 正幸

社外監査役 中村 利雄 弁護士

社外監査役 中野 雄介 公認会計士

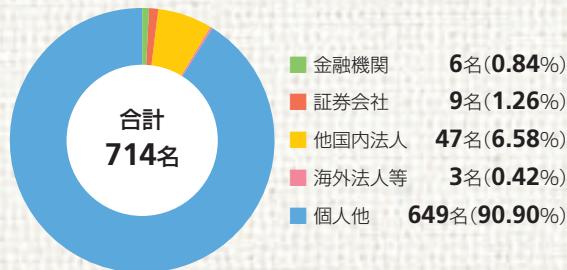
株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,945,000株
発行済株式の総数	7,340,465株
株主数	714名
大株主	

	保有株式数 (千株)	比率 (%)
㈱FJ興産	793	11.51
藤井多鶴子	717	10.40
小原京子	382	5.54
森本町子	328	4.76
鈴木直子	328	4.76
藤井一郎	220	3.19
藤井幸二	205	2.97
藤井太郎	200	2.90
藤井眞津子	191	2.77
フジックス社員持株会	188	2.73

(注) 当社は、自己株式449千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株主分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日
 (2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063

郵便物の送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

及び照会先* 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先*) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(URL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

*平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

公告方法 電子公告としております。

公告アドレス <http://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)

証券コード 3600

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様の住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願い致します。

平成25年2月

JUKI・ABCクッキング コラボワークショップ開催

ホビー需要掘り起こしの新しい取り組みとして、株式会社JUKI様と株式会社ABC Cooking Studio様とのコラボレーション企画を開催いたしました。ABCクッキングスタジオでお料理を学ばれる生徒さんに、ソーイングの基礎をわかりやすく解説し、実際に簡単な作品を作っていただきました。参加者の皆様にはソーイングの楽しさを実感していただき、手作りホビーのきっかけ作りとなりました。



平成25年4月

2013日本ホビーショー

東京ビッグサイトで開催される日本最大のホビーフェアで、今回は3日間の開催期間中、来場者は約12万人となりました。当社ブースでは、「糸とあそび。～糸でできるあんなことこんなこと～」をテーマに、新商品をはじめソーイング関連商材の用途提案のほか、絹糸で絵を描く「シルクスレッドアート」や手作りお助けサイト「できるよ.com」の紹介を行いました。また、作品展示のほかワークショップやデモンストレーションなども行い来場者の皆様の注目を集めました。



平成25年5月

ソーイングLesson開催

昨秋竣工した当社東京支店多目的ホールを活用して、初心者を対象にソーイング体験ワークショップを開催しました。ビーズ刺しゅう作家としても著名な米永真由美先生を講師にお迎えし、「かんたん♪なのに本格的な仕上げ」をテーマに、新しい設備の整った会場で参加者全員が素敵な作品を完成させることができました。



フジックスグループNetwork

- ◆ 営業部門
- 生産部門



ホームページのご案内

財務情報をはじめとした会社案内や会社情報、製品情報、様々なアイテムの簡単な作り方を紹介する「手づくりレシピ」、糸の種類や選び方をわかりやすく解説する「糸のキソ」など様々なコンテンツをご用意しております。是非ご覧ください。

<http://www.fjx.co.jp/>



できるよ.comは会員制のコミュニティーサイトで、会員同士の情報交換や自分の作品を掲載できるページ、また、初心者でも簡単に様々なアイテムが作れる“手作りお助けソフト「Fデザイン」”を無料でダウンロードできます。会員の皆様には、京都の観光・グルメ情報など「京都よもやま通信」をメール配信しております。

<http://www.dekiruyo.com/>

